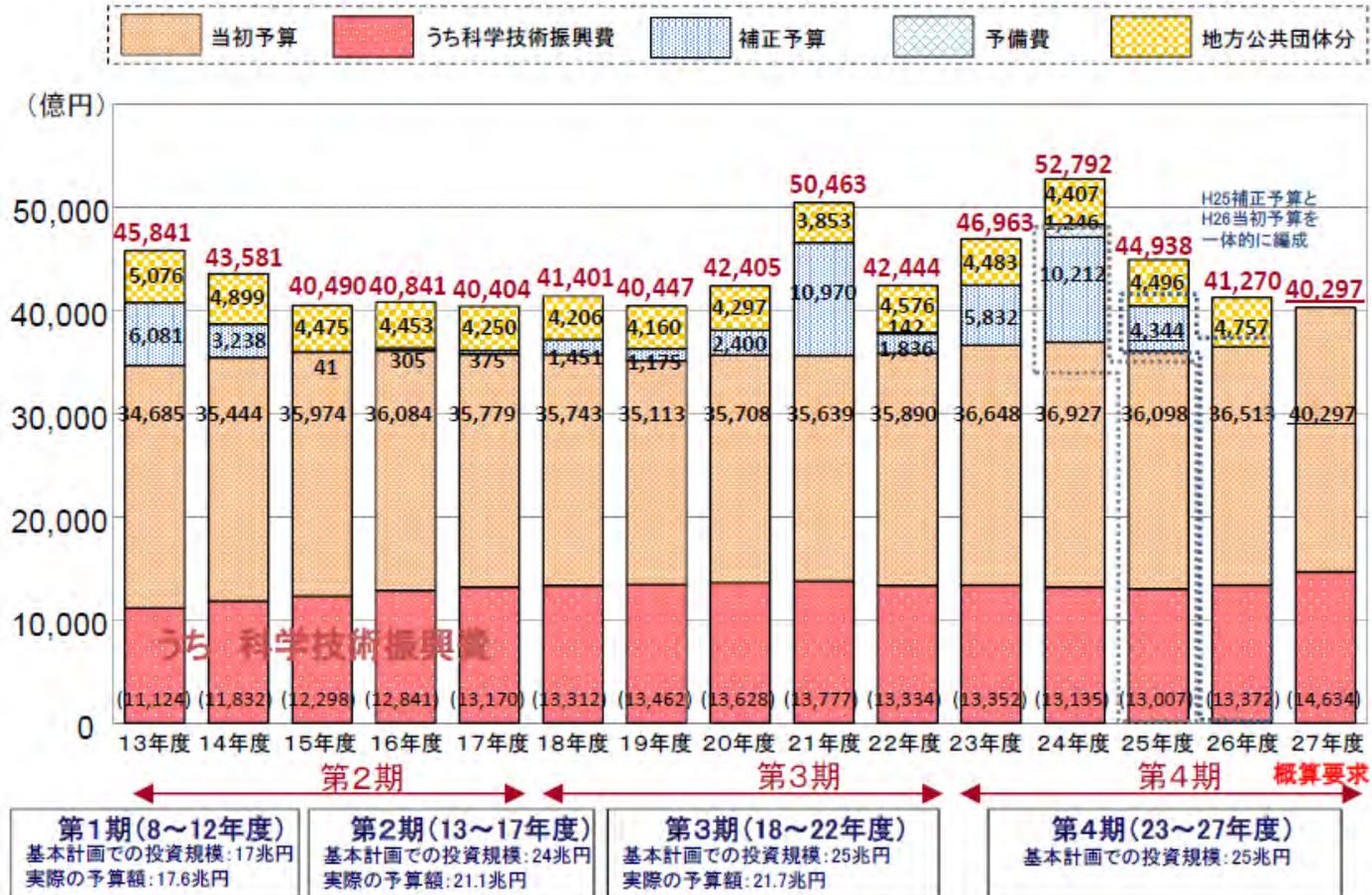


科学技術関係予算の推移

IV. 3.

第4期基本計画中の科学技術関係予算については、平成23年度から平成25年度にかけて4兆6,963億円、5兆2,792億円、4兆4,938億円と推移している。



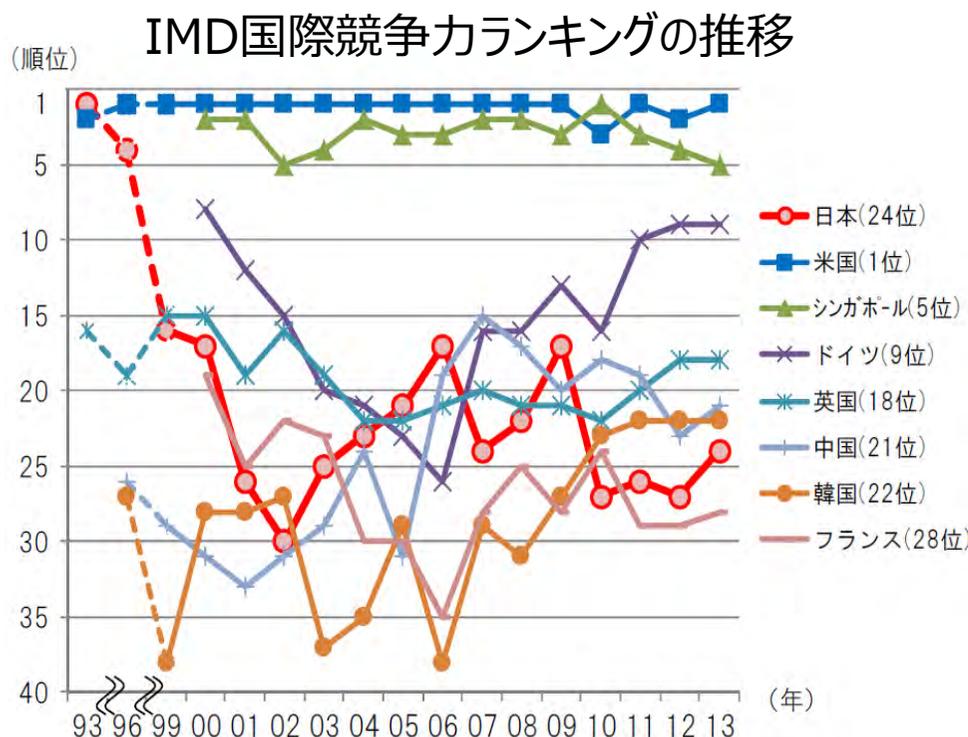
(※1) 本集計は、現時点で未確定である公共事業費の一部(平成25年度まで社会資本整備事業特別会計で計上)等を除いたほか、現時点での各府省の速報値をとりまとめたものであるため、今後の精査により変更があり得る。
 (※2) 本頁の26年度予算額には、公共事業費の一部(平成25年度まで社会資本整備事業特別会計で計上)等が含まれており、1頁に記載された26年度予算額とは異なっている。

出典：内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）「平成27年度科学技術関係予算 概算要求について」2014年9月

我が国の科学技術イノベーションの現状

IV. 3.

- ・グローバル企業にとってのビジネス環境の整備度合を示す「IMD※1国際競争力ランキング」では、1989年から1993年まで1位だったものの、近年は20～30位で推移。
- ・INSEAD※2等が公表する技術革新力ランキングでは、141ヶ国中25位。
- ・論文数はわずかに増加しているものの、世界的シェアでは大きく低下。
- ・特許出願件数は、45万件を超える規模であるが、2000年半ばから漸減傾向。



主要国	技術革新力 ランキング 2012年	論文数シェア 2009年— 2011年 平均	特許出願件数 2010年	WEF 国際競争力 ランキング 2013年
日本	25位	5位	46.2万件	9位
米国	10位	1位	41.6万件	5位
中国	34位	2位	30.7万件	29位
英国	—	4位	4.3万件	10位
韓国	21位	—	17.8万件	25位
ドイツ	15位	3位	13.8万件	4位

出典「平成25年度科学技術白書」

「平成25年度科学技術白書」等を基に作成

※1 スイスに本部を置く国際経営開発研究所(International Institute for Management Development)

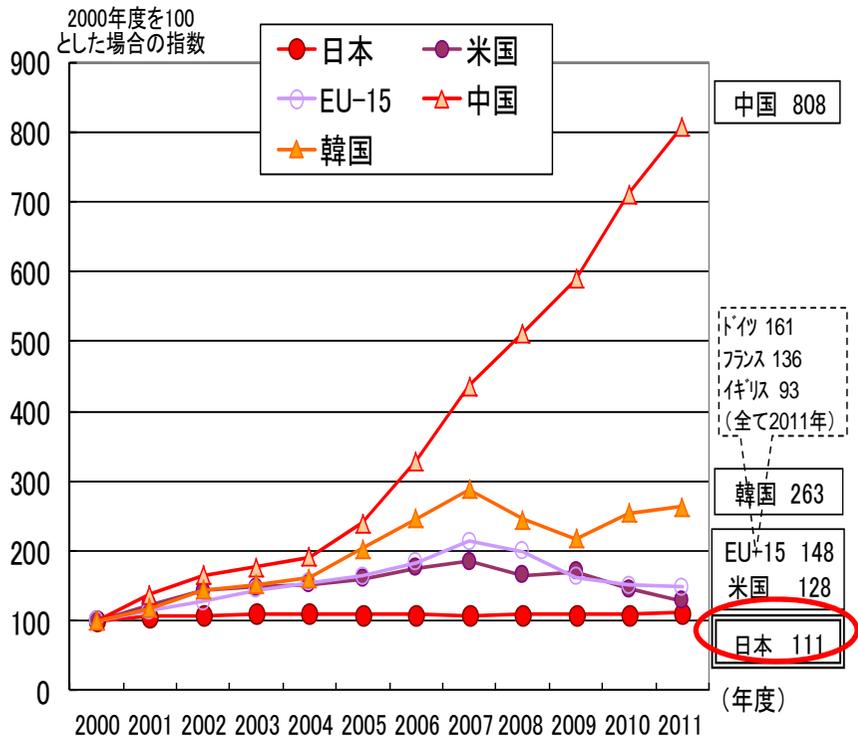
※2 フランス、シンガポール及びアブダビにキャンパスを持つ世界的に評価されているビジネススクール(Institut Europeen d'Administration des Affaires)

主要国等の政府研究開発投資の推移

IV. 3.

- ・我が国の科学技術関係予算の伸びは諸外国に比較して低調。
- ・研究費の政府負担割合は、主要国と比較して低く、その対GDP比も横ばい傾向。

2000年度を100とした場合の 各国の科学技術関係予算の推移



注) 各国の科学技術関係予算をIMFレートにより円換算した後、2000年度の値を100として算出。

資料) 日本：文部科学省調べ。各年度とも当初予算

中国：科学技術部「中国科技統計データ」

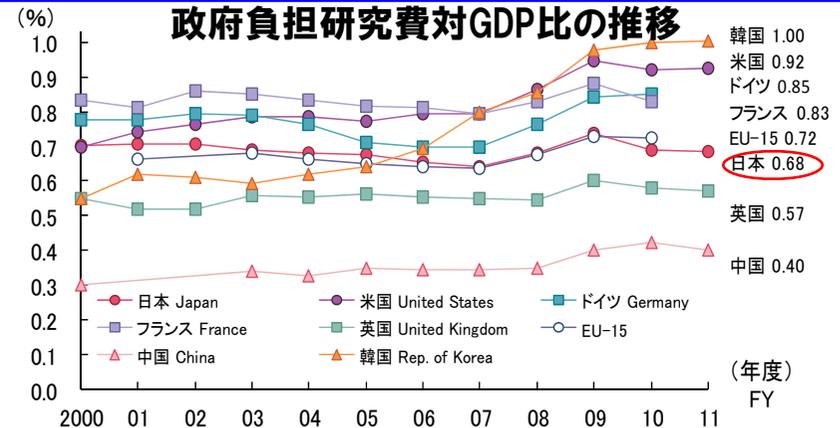
EU-15：Eurostat

その他の国：OECD「Main Science and Technology Indicators」

IMFレート：IMF「International Financial Statistics Yearbook」

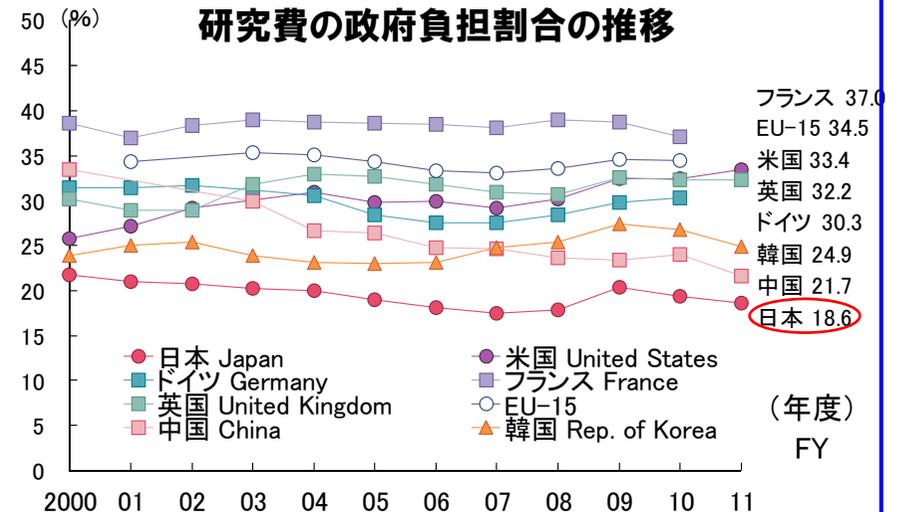
出典：文部科学省作成

政府負担研究費対GDP比の推移



資料) 日本：(政府負担研究費) 総務省「科学技術研究調査」
(GDP) 内閣府「国民経済計算確報」
EU：(研究費、国内総生産)「Eurostat database」
その他：OECD「Main Science and Technology Indicators」

研究費の政府負担割合の推移



資料) 日本：総務省「科学技術研究調査」
その他：OECD「Main Science and Technology Indicators」